**Bose Professional Videobar VB-S: オールインワンUSB会議デバイス**設計者とエンジニアのための仕様概要

---

このUSB会議デバイスは、会議ブースやハドルルームなど、最大3 x 3 mの小規模の「Bring Your Own Meeting」（BYOM）スペース向けに設計されており、4K対応ウルトラHDカメラ、ビームステアリングマイク、スピーカー、プラグ＆プレイUSB接続機能、およびWi-Fi接続機能を備えています。BYOMデバイス、ホストコンピューター、統合型会議室で、Microsoft Teams、Zoom、Google Meetなどのユニファイドコミュニケーション（UC）クライアントサービスを使用する際に、マイク、スピーカーフォン、カメラ機能を提供するUSB機器です。

ウルトラHDカメラの視野角は、123°（対角）×115°（水平）×81°（垂直）で、デジタル5倍ズーム、グループモード・インディビジュアルモードを選べるオートフレーミング機能を備えています。デジタルパンチルトズーム（DPTZ）に対応し3つのプリセットを備えています。カメラ処理は、自動ホワイトバランス、自動輝度調整、デジタルノイズリダクションに対応しています。サポートされるカメラ解像度は、2160p（4K）、1080p、720p、960×480、848×480、640×480、640×360、432×240、 432×240で、H.264およびM-JPEGのビデオエンコーディングに対応しています。また、カメラレンズを遮るプライバシーカバーを備えており、本体下部にあるスライド式のスイッチで切り替えることができます。

ビームフォーミングアレイマイクは、4本の独立したデジタルビームを形成する4つのマイクで構成され、奥行き4 mまでの部屋をカバーします。マイクの周波数レンジは20 Hz～15 kHz（-3 dB SPL）です。マイクは固定・自動のビームフォーミング、3つの除外ゾーン、アコースティックエコーキャンセレーション（AEC）、ノイズを除去して発言を自動で検出・収音するデジタルノイズサプレッションをサポートしています。

スピーカーシステムは、電源供給とプロセッシングを自動で行い、90 Hz～20 kHz（-10 dB SPL）の周波数特性を備えたシングルトランスデューサーで構成されています。アンプは、スピーカートランスデューサー用の15 Wの出力チャネル1つで構成されています。

USB-Cポートを1つ備えており、付属のUSB-C-A変換アダプタを使って、コンピューターにカメラ、マイク、オーディオを接続します。USB 2.0、USB 3.0 UAC、UVC、HIDの各規格に対応します。*Bluetooth*接続に対応し、オーディオ再生のほか、4.2 HSP、A2DP、AVRCPの各プロファイルと、BLEサポートによるリモートコントロールに対応します。また、接続による電力供給にも対応しています。

Wi-Fi 802.11acカードを内蔵し、ネットワークに対応しています。既存のネットワークインフラに接続することで、導入やトラブルシューティングをすばやく行うことができ、リモートでの更新、管理、監視が可能です。WindowsやmacOSで動作する専用のソフトウェア設定アプリケーション、もしくはWebブラウザー経由で簡単に設定できます。SNMP、REST、WebSocket API対応の管理ソフトウェアを使用して、リモートでの動作管理とリアルタイムのステータス確認ができるため、ユニット単体やシステム全体を簡単に変更できます。

付属の赤外線リモコンか、Google PlayまたはApp StoreSMからダウンロードできる無料のモバイルアプリにより、ユーザーのスマートフォンでコントロールが可能です。ユーザーは、カメラの位置、ズーム比率、プリセットのコントロールのほか、オートフレーミングの切り替えも行えます。また、スピーカーの音量調節、マイクのミュート／ミュート解除、*Bluetooth*デバイスの接続／切断も行えます。システム管理者はユーザーのデバイスコントロールを制限できます。専用のソフトウェアアプリケーションを使用して、カメラ、スピーカー、マイクのユーザーコントロールをオン、オフ、制限することができます。

デバイスには、電源やスピーカーの音量、ミュートのステータス、*Bluetooth*ペアリング、異常、接続状態を視覚的に示すライトバーが搭載されています。カメラのステータスは、カメラの上部の緑のLEDで表示されます。LEDはプライバシーカバー使用時にも確認できます。

付属のブラケットを使用して一般的な壁面に設置できるほか、付属の卓上スタンドを使用してテーブルにも設置できます。オプションのディスプレイマウントキットを使用することで、デバイスをディスプレイモニターの上下に設置することができます。また、オプションのマッドリングを使用することで、デバイスを壁に取り付けると同時に、ケーブルを2口電源ボックスまで通すことができます。

このUSB会議デバイスの正式名称は、Bose Professional Videobar VB-Sです。